

吹田市文化会館（メイシアター）指定管理者候補者選定委員会 議事概要

1 開催日時

令和7年12月23日（火）13:30 開会 16:00 閉会

2 開催場所

吹田市文化会館（メイシアター）第1会議室

3 出席委員

	委員氏名	役職等
委員長	橋本 行史	大阪観光大学 観光学部 教授
副委員長	串崎 幸代	千里金蘭大学 教育学部教育学科 教授
委員	大谷 羊子	脚本・演出家 吹田市内での演劇指導
委員	柳瀬 真佐子	NPO法人市民ネットすいた理事長
委員	目加田 純一	近畿税理士会吹田支部

4 次第

(1) 開会あいさつ等

(2) 第三者モニタリングについて

ア 指定管理者へのヒアリング

イ 評価基準に基づく第三者モニタリング・評価（通常の第三者モニタリング）

ウ 非公募で選定した指定管理者による管理の妥当性の確認

(3) 答申

(4) 閉会

5 議事要旨

(1) 管理運営内容について

発言者	議事要旨
B 委員	毎年実施しているが集客数の少ない自主事業について集客方法など現状を教えてほしい。
指定管理者	この事業は出演団体と事業団の共催で、企画は出演団体、事業団は会場提供や当日の会場運営等を担っている。広報は指定管理者と出演団体が協力して行っている。 集客が少ないというご指摘については、若手育成や認知度の低い出演団体に活躍の場を提供することを目的としている事業でもあり、継続する意義はあるものと考えている。広報の手法については検討したい。
B 委員	若手育成は意義がある。集客数が少ないにもかかわらず、中ホールで複数回公演をしている事業は誰が広報を担っているのか。
指定管理者	団体だけでなく、指定管理者からも広報したが、集客数が伸びなかったもの。関西の演劇の活性化を図り、関西で活動する劇団の発表及び鑑賞の機会を提供するため、共催で実施したもの。

発言者	議事要旨
B 委員	中ホールで複数回公演する必要があったのか。人件費もかかるため、集客が難しければ、1日で実施するという方法など、工夫を必要としてこなかったのか。
指定管理者	ご指摘の事業は複数団体が集まって合同公演として実施しており、普段使用している小劇場ではできないような大きな規模での芝居を作り、多くの集客をする狙いであったが、想定よりも伸びなかったもの。
C 委員	すいたティーンズクラシックフェスティバルについて、審査員が吹田の音楽家である必要性を教えてください。
指定管理者	全国的に活躍している吹田市ゆかりの音楽家が審査員を務め、公開レッスンや、審査員と子供たちが一緒にステージに立つアウトリーチコンサートなどを実施している。吹田の音楽家が審査員を務めることで、より地域に根差した事業になっている。
C 委員	メイシアター少年少女合唱団は長期的な視点による次世代の育成を目的としているが、参加者の後追いの調査はしているか。また、近年の小・中学校や高校の合唱部の減少の原因は把握しているか。
指定管理者	卒団員対象の調査は行っていないが、少年少女合唱団で舞台に立った経験から、人形劇ワークショップやファミリーミュージカルに参加している方もいる。また、すいたティーンズクラシックフェスティバルで受賞された方や、地域の劇団に入って活動をしている方もおり、長期的に応援している。 合唱部減少の原因は、具体的なデータ等は持ち合わせていないが、少子化と指導者不足による廃部等の影響があるのではないかと考えている。もっと歌いたいという子供たちのために、まちの合唱団としてメイシアター少年少女合唱団がある。
C 委員	子供向けのワークショップの具体的な内容・講師・ファシリテーターなどについて教えてください。
指定管理者	高校演劇祭舞台技術ワークショップは、事業団の舞台・照明・音響職員が講師を務め、高校生が上演に活かせることを目的に、中ホールにて舞台機構や照明機材等の基本操作を説明し、デモンストレーションを行った。 バレエ子役ワークショップは、オーディションで選ばれた子供達を対象に東京バレエ団の講師によるワークショップを3回行い、大ホールで東京バレエ団と共演した。 人形劇ワークショップは、児童センターにて人形劇遊びを行った。そこでメイシアターでの人形劇ワークショップ参加希望者を募り、人形劇団クラルテ団員の講師によるワークショップを3回行い、自分で操る人形と小道具を創作し、ストーリーを考えて、小ホールで成果発表を行った。 和太鼓ワークショップ、パントマイムワークショップは、それぞれプロの講師による指導のもと練習を行い、小・中ホールにて成果発表会を行った。 ピアノ解体ショーは、ピアノを解体しながらピアノの内部構造を紹介し、楽器の仕組みや部品に触れてもらった。 トランペットづくりは小学生を対象とし、ヤマハより講師を招いて、ホースで作ったトランペットを親子で作って、音が鳴る仕組みを体験するワークショップを行った。

発言者	議事要旨
C委員	SUITA×ARTで障がい者等の作品展示を行っているが、メイシアター以外の公共施設を積極的に活用していく予定はあるか。
指定管理者	今は予定していないが、作品展以外に障がい福祉室と連携した障がい者週間ダンスイベントを実施した。幅広い市民の方が集まり、相互理解に繋がる取り組みを充実させていきたい。今後、他施設での作品展示の機会があった場合は参画したい。

(2) 利用者満足度について

発言者	議事要旨
C委員	アートマネジメント等の専門能力を有するアートマネージャーの確保と育成について、具体的な取り組みを教えてください。
指定管理者	事業団職員を採用し、若い人材を確保している。人材育成について、まず10年以上の経験職員の事業プロデュースを補佐しながら、演出家や団体等との調整の経験を積み、企画立案や制作を学んでいる。ステップアップとして、小規模事業を企画し、出演者との調整や宣伝業務等を行うなどの経験を通して専門能力を培う。併せて、経験職員も若手職員もアートマネジメントの外部研修を受講している。
C委員	専門職員の人材育成について、OJTによりノウハウを継承・構築し、それをどのように展開していくかが大切である。 また、吹田市の文化・芸術に関心を持つことで人生を豊かにできるよう、文化・芸術に関心を持つ層の裾野を広げることが大切であるが、これに関してのアートマネージャーの動きを教えてください。 また、メイシアターの役割として吹田市の文化の発展や普及があるが、メイシアターに普段来ない方や関心の低い層の掘り起こしに向け、アートマネージャーが具体的にどのような働きかけを行っているのか。
指定管理者	客席で公演を観る、舞台に立つだけでなく、これを作ることができる人材の育成が必要だと感じており、来年度は市民にも一緒にアートマネジメントをしていただくような事業を企画したい。 関心の低い層の掘り起こしについては、ヒップホップではなくコンテンポラリーダンスを実施するなど、新しいジャンルで、誰でも参加できる事業を実施している。参加しやすい企画を複数パターン提供していく。 また、小・中学校に出向いて、子供たちに文化に触れてもらう機会を提供するアウトリーチ事業を積極的に実施している。クラシックのコンサートだけでなく、演劇ワークショップ等も取り入れ、これまで文化に関わりが薄かった子供たちにも文化に触れてもらっている。
C委員	アウトリーチは体制的に難しいことがあるが、メイシアターに足を運ぶ層をどう掘り起こすかとなると、来てくれる人を待つのではなく、出向くことも必要。今後も幅広い層に文化・芸術に関心を持ってもらえる機会を作してほしい。
委員長	ヨーロッパでは街中から音楽が聞こえたり、演劇の光が漏れたりということがあがる。こういう状況だと良いが、日本ではそのようなことはあまりないので、アウトリーチ活動は素晴らしい。

発言者	議事要旨
B 委員	アートマネジメントの外部研修はどのようなものか。
指定管理者	毎年、総務省が主催している若手職員向けの研修のほか、全国公立文化施設協会、自治体、大学が主催している研修などに参加し、イベント企画の手法など実践的な内容を学んでいる。研修には、全国から受講者が集まるため、ネットワークづくりにもなり、情報交換をし、そこから企画が生まれることにも繋がっている。

(3) サービスの提供の継続性及び安定性について

発言者	議事要旨
D 委員	昨年度退職者がいたようだが、人員確保に問題ないか。
指定管理者	職員採用を行い、現在欠員は生じていない。
委員長	職員の年齢構成のバランスがとれているがどのような工夫をしているのか。
指定管理者	職員が定年を迎えた際に、年齢構成のバランスや世代交代を意識して採用している。
C 委員	外部資金の調達について、毎年少しずつ金額が上がってきている。寄附をもってメイシアターの文化・芸術活動を支えていただいているため、引き続き資金調達も頑張してほしい。
委員長	メイシアターは、市民の活用を優先するという考え方もあると思うが、大きなイベントであれば、市の範囲を超えてPRすることもあると思う。どのような考えで市内外へのアプローチをしているか。
指定管理者	吹田市や会館のPRになるということも大切である。例えば、40周年記念事業では、テレビ番組で吹田市外の方々にもメイシアターの取組が伝わるような働きかけを行った。 また、40周年を機にホームページのリニューアルのほか、若手職員を中心にSNSの積極的な発信に努めている。
A 委員	令和6年度の入場率61%について指定管理者としての評価は。
指定管理者	大規模改修工事やコロナ後から、入場率が少しずつ戻ってきているが、目標入場率である75%には達していない。
A 委員	Instagramの更新が月1回程度である。発信力を高めるため、もう少し細やかに投稿してはどうか。
指定管理者	フォロワー数はまだ少ないが、著名人による宣伝映像を出したときは数万から数十万人の閲覧があった。今後はもっと時間をかけて積極的に発信していきたい。
B 委員	SNSはいろんな戦略があるが、更新回数についても検討していただきたい。ホームページは見やすくなったと思う。
A 委員	SUITA×ARTの利用率が100%であり素晴らしい。一方で、同じ団体が多く利用されているということはないか。
指定管理者	常連も多いが、新しい方も激増している。
A 委員	SUITA×ARTのような利用しやすい空間を他にも作れたら良い。また、平等に様々な人が使えるシステムであればよいと思う。
C 委員	SUITA×ARTの予約システムはどのようなものか。
指定管理者	令和7年度から空き状況を確認してから先着順にスムーズな手順で予約できる仕組みとした。

(4) 答申について

発言者	議事要旨
D 委員	限られた経費の中で様々な取組を行っている。子供たちの文化活動の場が減少している中で、メイシアターの外でも様々な取組をされている点が特に評価できる。
C 委員	指定管理者と市との関係も良好であるからこそ、実施している事業も学校や他施設との連携を図ることができている。また、市の文化政策を牽引していく存在だと思う。今後はメイシアターに来る人以外にも焦点を当ててほしい。
B 委員	<p>長年文化ホールのモデルとして存在しているだけあり、システムも構築できている。子供からお年寄りまでみんなが好きな文化から、少しマニアックな文化まで、全体を網羅して取り組むことができているのはここだけであり、非常に高く評価している。</p> <p>しかし、惰性的に実施している事業については改善が必要。集客がすべてではないが、たくさんの方に見てもらいたいことも大切であるため、今一度精査していただきたい。</p> <p>文化ホールとしては、もうでき上がっており、言うことはない。</p>
A 委員	<p>安定的に管理・運営されている。特にSUITA×ARTは利用率も上がっており、今後の可能性を感じさせる良い取組である。</p> <p>SNSも含め、若手職員の感性を存分に発揮し、いろいろな可能性にチャレンジしていただきたい。</p>
委員長	客観的に評価したあと、最後に一言ずつ、各委員からコメントがあったが、この内容も大切である。客観的な評価とともに、各委員のコメントを議事録に残したうえで、今後ご検討いただきたい。
委員長	各委員の評価をもとに、当委員会としてのモニタリング評価について確定する。評価基準に基づく第三者モニタリング・評価（通常の第三者モニタリング）について、「公共施設として、平等かつ公平な運営を適正に実施されていることが確認できた。」でよろしいか。
各委員	(異議なし)
委員長	続きまして、非公募で選定した指定管理者による管理の妥当性の確認についての評価について、「非公募で選定している現指定管理者による管理の妥当性について確認できた。」でよろしいか。
各委員	(異議なし)